

福島復興本社における
賠償・除染・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

○ 原子力損害賠償の進捗状況	_____	1	～	3
○ 除染等推進活動状況	_____	4	～	5
○ 復興推進活動状況	_____	6	～	7
○ 流通促進活動状況	_____			8

原子力損害賠償の進捗状況について

<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

2018年9月30日現在

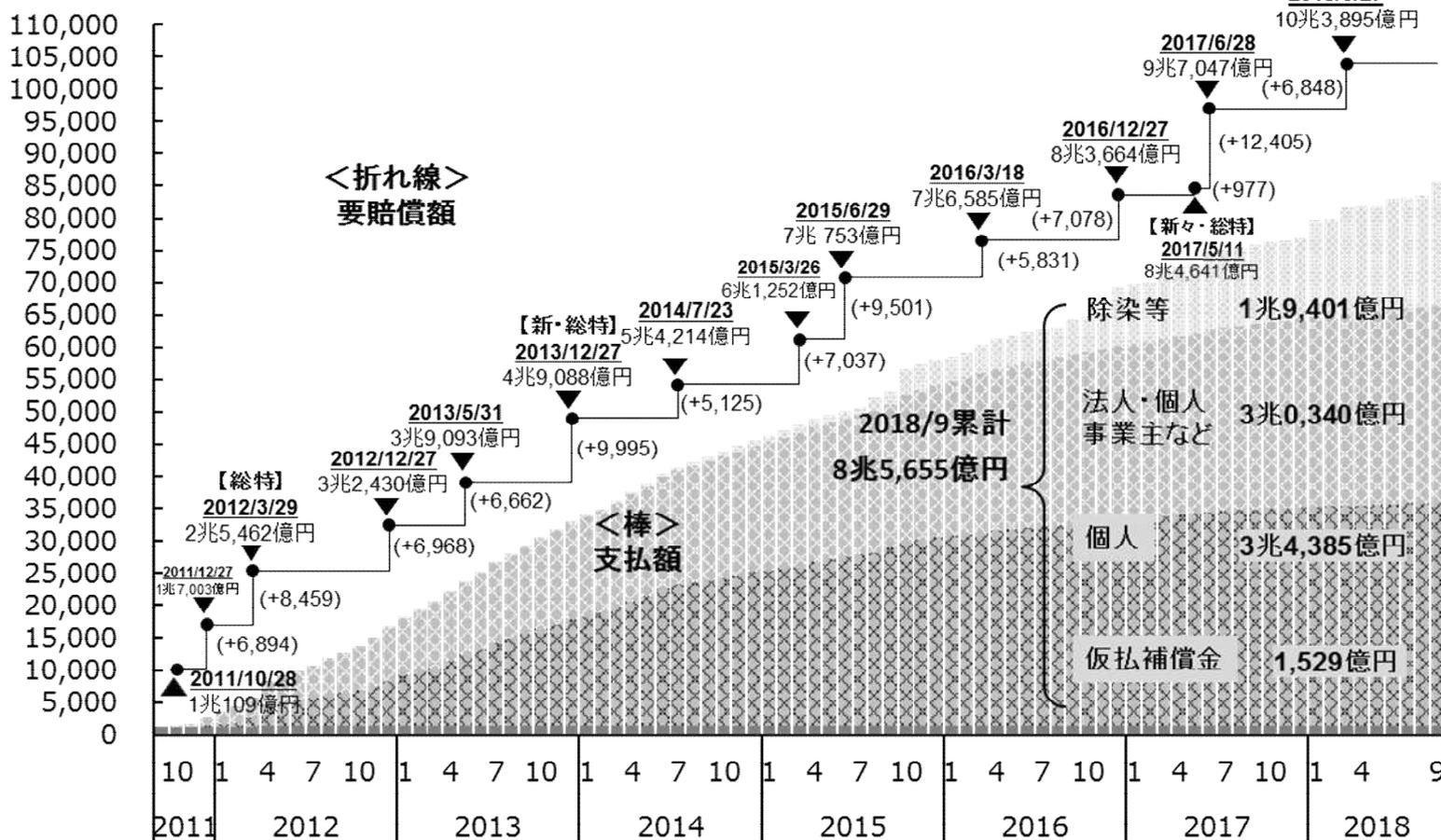
	個人 ※1	法人・個人 事業主など
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,388,000件	約486,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,260,000件	約419,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆4,385億円	約4兆9,741億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額 ※2		約8兆4,126億円 ①
仮払補償金		約1,529億円 ②
お支払い総額		約8兆5,655億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

<賠償支払額及び要賠償額の推移>

(億円)



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (3/27資金援助額変更申請)	合意いただけただ実績 ^{※1} (2018年9月末現在)
I. 個人の方に係る項目	20,598億円	19,742億円
検査費用等	3,352億円	2,689億円
精神的損害	10,967億円	10,793億円
自主的避難等	3,626億円	3,626億円
就労不能損害	2,652億円	2,632億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	29,657億円	28,662億円
営業損害	5,258億円	5,142億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	17,781億円	17,424億円
一括賠償（営業損害、風評被害等）	3,084億円	2,368億円
間接損害等その他	3,532億円	3,726億円
III. 共通・その他	20,917億円	17,849億円
財物価値の喪失又は減少等	14,756億円	13,719億円
住居確保損害	5,910億円	3,879億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等^{※2}	32,721億円	19,401億円
合計	103,895億円	85,655億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 82%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 ・精神的損害 ・就労不能等に伴う損害 ・検査費用 ・避難・帰宅・一時立入費用 ・生命・身体的損害 等	9月:法人本賠償 ・営業損害 ・出荷制限指示等による損害 ・風評被害 ・間接損害 等
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償 仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について

<ADRの対応状況>

2018年10月12日現在

申立件数		24,146件
解決件数	全部和解件数	18,535件
	取下げ件数	2,441件
	打切り件数	1,882件
	却下	1件
現在進行中の件数		1,287件

出典：原子力損害賠償紛争解決センターHPより

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは24,006件(9月末現在)

※当社に送達された件数は月平均で約95件(平成30年度)

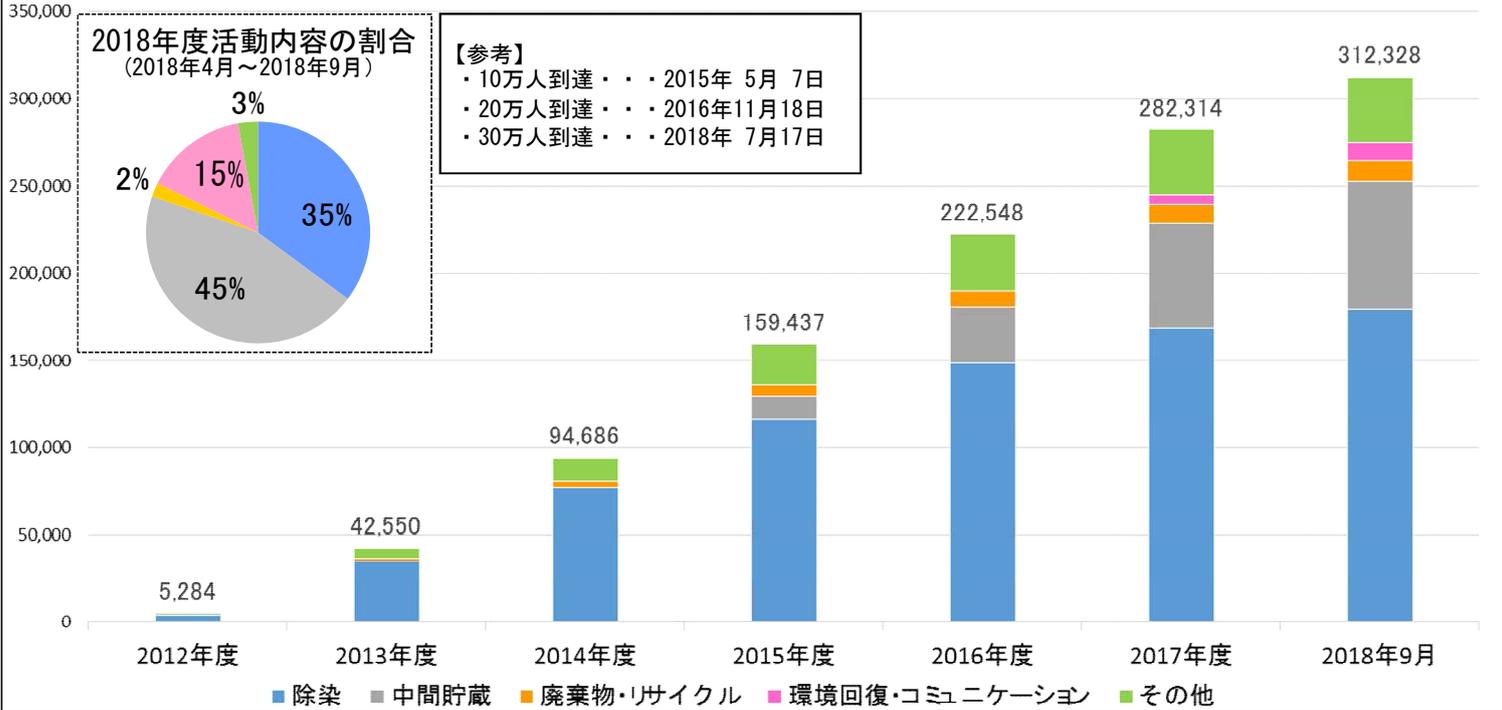
※現在進行中の件数のうち、102件は一部和解が成立している

※和解金額は約3,036億円

9月の活動実績

除染	中間貯蔵	廃棄物・リサイクル	環境回復・コミュニケーション	その他
				
1,673人 (36%)	2,048人 (45%)	92人 (2%)	638人 (14%)	155人 (3%)
9月の活動実績合計				4,606人
復興本社設立（2013年1月）からの累計				312,328人

(人) [活動内容別実績 (累計)] 2013年1月～2018年9月



至近の主な取り組み



超音波発信機を搭載したドローンによる新たなイノシシ対策実証試験

背景

- ▶ 浜通り地域ではイノシシが住民の生活環境に影響を与えており、当社としても電気柵の設置やドローンを用いた生息調査方法の実証試験等を実施してきた
- ▶ 今回は培ってきたノウハウを活用し、浪江町から試験実施地域の情報をいただきながら、新たにドローンと超音波発信機を組み合わせたイノシシ対策実証試験を実施

実施時期 2018年9月20日、10月3日

実施場所 浪江町 両竹地区

実施人数 社員 延べ8人

実施内容 超音波発信機を搭載したドローンでイノシシに接近し、超音波がイノシシを追い払う効果があるかを検証

【試験概要】

- ◆ イームズロボティクス(株)^{※1}と協働実施
- ① 赤外線カメラ搭載ドローンを高さ約70mで飛行させて、イノシシの位置を特定
- ② 超音波発信機^{※2}を搭載したドローンが、発見したイノシシの場所へ飛行
- ③ 超音波(4k~50kHzの音)を発信しながら、イノシシに接近

※1 本社が福島市で産業用ドローンを中心とした自律機器の製造販売、ソリューション提案と開発等を手がけており、イノシシ対策の開発を進めている
 ※2 株式会社モハラテクニカ製を使用(鳥獣の嫌う音波を利用した鳥獣被害対策装置を独自開発。イノシシやシカ対策等で実績があり、ドローン用の試作機を保有)



実証試験状況



上空からイノシシに接近した状況

試験結果

- ▶ 超音波を発信しているドローンの接近によりイノシシが逃げ出すなど一定の効果を確認。引き続き、超音波の効果検証とドローンによるイノシシへのアプローチ手法等、効果的な追い払い方法について検討要

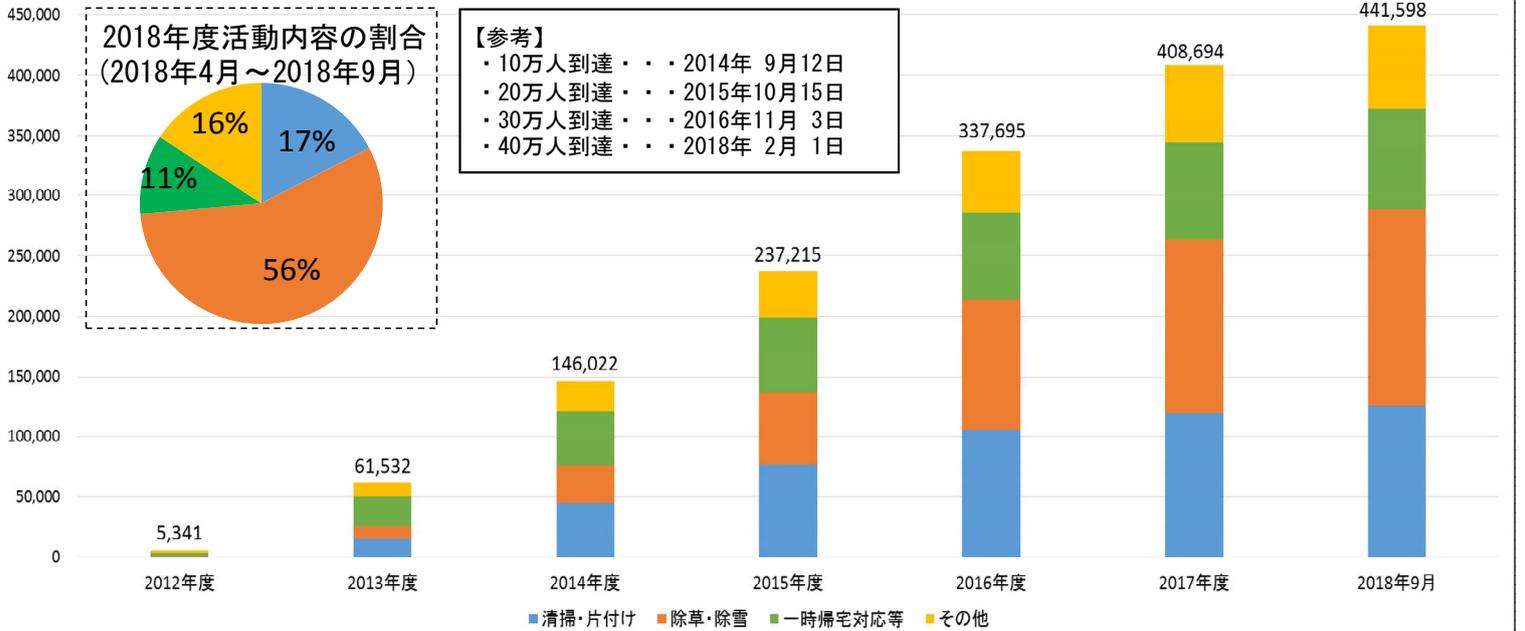
今後の計画

- ▶ 11月以降に超音波の継続的な効果を検証するため、定置式の発信機を活用した試験を実施
- ▶ 引き続き、新たな獣害対策として、地域の役立つ取り組みとなるよう技術開発を進める

9月の活動実績

清掃・片付け (屋内清掃・大型家財搬出等)	除草・除雪 (町道・住宅進入路・公共施設等)	一時帰宅対応等	その他 (イベント運営補助・介護研修会等)
			
927人 (15%)	3,812人 (60%)	678人 (11%)	910人 (14%)
9月の活動実績合計			6,327人
復興本社設立 (2013年1月) からの累計			441,598人

(人) [活動内容別実績 (累積)] 2013年1月～2018年9月



至近の主な取り組み



「ふたばスポーツフェスティバル2018」への協力と参加



「第2回とみおか復興ロードレース大会」への協力

「ふたばスポーツフェスティバル2018」への協力と参加

実施時期	2018年10月6日
実施場所	檜葉町・広野町（Jヴィレッジ）
実施人数	社員13人
実施内容	絆スポレクふたば実行委員会からの依頼により、Jヴィレッジで開催された「ふたばスポーツフェスティバル2018」において駐車場での車両誘導を実施 また、双葉町の皆さまとともに玉入れ等の各種競技に当社社員も参加

<活動の様子>



駐車場での車両誘導の様子[2018年10月6日撮影]



玉入れ競技の様子[2018年10月6日撮影]

「第2回とみおか復興ロードレース大会」への協力

実施時期	2018年9月30日
実施場所	富岡町
実施人数	社員58人
実施内容	一般社団法人富岡町さくらスポーツクラブからの依頼により、「第2回とみおか復興ロードレース大会」の開催にあたり、駐車場での車両誘導、会場（コース）設営・片付けおよびレース中のコース誘導・給水等の運営補助を実施

<活動の様子>



給水補助の様子[2018年9月30日撮影]



コース誘導の様子[2018年9月30日撮影]

「発見！ふくしま」キャンペーンの取り組み

【至近のイベント実績】

- 百貨店やスーパーにおいて福島県産品の魅力と美味しさを伝える試食販売会を展開
- イベントで販売した新米は全店舗合計で700kg超を完売
- ご協力いただいた店舗では、福島県産の新米の販売を常設化

開催場所	開催日	開催内容	お米の販売実績
クイーンズ伊勢丹様(笹塚店)	9月29・30日	新米「ミルククイーン」の試食販売会	完売
京王ストア様(桜ヶ丘店、高幡店)	9月29・30日	新米「五百川」の試食販売会	完売
東急百貨店様(たまプラーザ店)	10月18・19・22・23日	新米「天栄米」の試食販売会	完売



クイーンズ伊勢丹様での販売会



京王ストア様での販売会



東急百貨店様での販売会

【福島の現状や魅力を情報発信】

- ①生産者さまの言葉で福島の現状をお伝えする雑誌記事を掲載(レタスクラブ、サンキュ!、E S S E等)
- ②航空会社P e a c hと連携して福島の魅力をお届けする動画を作成。動画は両社のホームページで公開



■雑誌：サンキュ！11月号



■動画：「はらくっち！ふくしま」

【LINEにより福島を応援】

消費者の皆さまに直接、福島県産品販売イベントや福島県産品を使ったレシピ動画等の情報をお届けするため、友だちの拡大と情報発信を実施



今後の取り組み

《ふくしままつりinパンダ広場》

ふくしま応援企業ネットワークと御徒町駅南口商店会様との共催で、福島県産品の販売イベントを開催
隣接する松坂屋上野店様で実施する「ふくしまフェア」と連動

日 時：2018年11月10日（土）～11日（日）10：00～16：00

場 所：御徒町南口駅前広場（パンダ広場）

- 内 容：
- ・ふくしまマルシェ、こだわりフードコート
 - ・福島県産品やご当地メニューを出店
 - ・福島県立ふたば未来学園の生徒がつくった焼き菓子（フィナンシェ等）の販売
 - ・関連イベント（ご当地キャラクター大集合等）



<特設サイトURL>
<https://fuku-panda.com/>